



落語のおもしろさは 言葉の運びによる心地よさ 手話落語の魅力は見る楽しさ

ふくいしゆきのり
福石幸紀さん
(ろう学校教諭)

HITO

手話落語は、耳の聴こえの不自由な方々を相手にするので、話の面白さが伝わりやすい演目を選び、わかりやすいしぐさをつけることが大切です。そして、演じるときは、なるべく声を出さないようにしています。

「小さい頃から、歌や物まねで人を楽しませることが好きでした。」とやさしい笑顔で話してくれる入間川にお住まいの福石幸紀さん。現在、大宮ろう学校の先生です。「高校時代に落語の魅力にとりつかれ、寄席に通い、覚えた落語を教室で披露していました。大学には落語サークルがなかったため、初めは演劇部で活動していたんですが、どうしても落語をしたくて自分でサークルを作り、演劇と落語を掛け持ちでした。たんです。」

か理解できず、自分の思いが伝わらないもどかしさから、学校を替わりたいと考えていました。」と振り返ります。「これではいけない、子ども達と心を通わせたい。そのためには、手話を学ぶことが必要だ。」と思った福石さんは、東京の手話講習会に通い、ろうあ者の現状や生活上の困難を学んだのだそうです。それでも、ろう学校の生徒たちに落語の楽しさを伝えることは容易ではなく、あきらめかけたこともありました。

しかし、あるとき手話通訳付きの落語を演じる機会があり、その珍しい試みに大きな反響がありました。聴覚に障害のある方々は「初めて落語を見た。」と大好評でしたが、同時に「演じ手と隣の通訳者を交互に見るのでおもしろさが半分。」との感想をもらいました。このことがヒントになり、一人で手話をしながら落語をする「手話落語」に取り組み始めます。ここからが大変で、手話が上手で表現の豊かな人たちの自宅にまで伺い、手話落語を見てもらってアドバイスを受けました。手話落語の難しさは、表現が耳の聴こえない人たちの気持ちとびったり合うということです。



「手話落語だけでなく、イングリッシュ落語やパントマイム、手話の演劇、手話の歌など学ぶ範囲が広がりました。」と言う福石さん。

この頃から、「落語を子ども達に教えたい」という福石さんの夢が徐々に現実のものとなっていくたそうです。その後、ろう学校の子ども達と一緒にクラブを作り、本格的に練習を始めました。「子ども達に少し教えてみると、あとは自分たちでアレンジして、一層楽しくしてくれました。彼らの表現力の豊かさに驚き、逆に学ぶことも多かったです。」とおっしゃいます。

ご自分でも福々亭先生という芸名で演じるほか、「もて亭小丸」「ぶりむい亭紅」「萬家たわし」など楽しい芸名を持つ50数名ものお弟子さんがいるそうです。話の端々に落語の口調やパントマイムを交えてくれる福石さん、こんな楽しい先生と出会えた子ども達は、幸せだなと思っただけでなく、幸せ

REPORTER'S EYE

マヤーサ チャレンジショップMAJASA



【リポーター】
薄田明子さん(つつじ野在住)

リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、読者がレポートします。



「いらっしゃいませ。
マヤーサへようこそ！」



他市の施設と違って、店ごとの仕切りがないこと、1日単位で借りられることが特長です。オープンスペースであるために、互いの店に相乗効果が生まれ、お客さまともコミュニケーションをとること

「いらっしやいませ。マヤーサへようこそ！」

七夕通りの交差点にあるビルの1階に、ちよつと変わった雰囲気のお店がオープンしたのを、皆さんご存じでしたか。ここはチャレンジショップ・マヤーサ。私も月に数回利用していますが、自分の店を持ちたいと考えている方の最初の一步となる素敵な施設です。今回は、このマヤーサについて、商工会議所でお話を伺いました。

活性化を進める云々と商工会議所などが中心となって開設されました。「開店の意欲はあつても少し不安…」という皆さんに、自分の店を構える前にマヤーサで自信をつけ、将来は市内の空き店舗での開業を目指していただきたい、そういう思いが実現したチャレンジショップなのだそうです。



明るい雰囲気の店内

ができます。さらに、チャレンジジャー同士が月に1回、利用にあたっての話し合いを開催しているため、情報交換もでき、連帯感も生まれるので、お互いの都合を融通し合いながら、良い関係で経営ができていそうです。また、1日単位で利用できる

「お店なんだろう？」と不思議そうな顔でのぞき込みながら、通り過ぎていく方が大勢いますが、今後はぜひお気軽に立ち寄ってみてください。素敵な展示に誘われて入って来たお客さまが、明るい雰囲気の中でお茶を飲み、おしゃべりができる憩いの空間です。自分の店を持つために意欲的に行動しているチャレンジジャーが、心を込めてお迎えしてくれると思いますよ。